

## 医療費をムダなく、安心して使うために

最近よく聞く『後続医薬品』『バイオ後続品』ってなに？



病気の治療に使われるお薬には、色々な種類があります。

その中で登場したのが、後発医薬品や、バイオ後続品です。

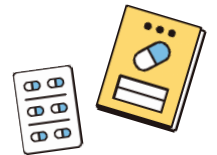
- ・先発医薬品（新薬）…最初に開発・承認・発売された医薬品です。開発に膨大な費用がかかっている為、販売価格も高くなります。
- ・後発医薬品（ジェネリック医薬品）…化学合成でつくられた先発医薬品（新薬）の特許が切れた後に製造される、新薬と同一の有効成分を同一量含み、同一の効能・効果を持ちます。有効性・安全性及び品質について国が厳格な審査のうえ、製造販売を承認しているお薬です。

### バイオ医薬品とバイオ後続品

- ・バイオ医薬品…細胞や微生物などの生物の力を利用してつくられる、タンパク質を有効成分（治療効果がある成分）とし、薬効が高く、副作用が少ないとされる新しい薬です。
- ・バイオ後続品（バイオシミラー）…バイオ医薬品の特許が切れた後に、他の製薬会社から販売された薬です。バイオ医薬品と同等・同質の品質、安全性、有効性を有します。

ジェネリック医薬品やバイオ後続品を利用することで、医療費の自己負担額が軽減されます。

かかりつけの医師や薬局の薬剤師にご相談の上、積極的にご利用ください。



### 通院を少し楽にする仕組み

～リフィル処方せん・長期処方せんの使い方～



どちらも、症状が安定している患者が対象となりますが、違いは次の通りです。

	リフィル処方箋	長期処方
処方の仕方	最大3回まで繰り返し使用可能な処方箋を処方する。	一度に長期間分の薬を処方する。
受診頻度	期間中、医師の診察は一度だけ。 薬局へは毎回（最大3回）行く必要がある。	期間中、医師の診察も薬局に行くのも一度だけ。
特徴	一度の診察で長期間分の薬を複数回に分けて受け取ることができる。医療機関の受診間隔は空くが、薬局へは毎回行くため、健康状態の管理が期待できる。	一度の診察で長期間分の薬を受け取る事ができる。

### こんなメリットがあります



- ・薬をもらうために医療機関を受診する必要がなくなり、通院時間の短縮や医療費の節約になる
- ・医療機関受診による感染症リスクを減らせる

※処方せんの発行には医師の判断が必要となります。希望される場合は、かかりつけの医師にご相談ください。

この機会に、リフィル処方せん・長期処方せんの仕組みをご理解いただき、自身の体調に照らして、ご利用をご検討ください。

